

令和5年度第1回土浦地域医療構想調整会議結果

1 日 時 令和5年6月30日（金） 19:00～20:10

2 場 所 WEB開催

3 出席者 別添出席者名簿のとおり

4 議 事

（1）医師派遣調整に係る医師派遣要望調査について【資料1・参考資料1】

○事務局より、資料1に基づき、調査目的・調査内容・スケジュール等について説明し、今回は、①石岡第一病院（整形外科1名）→②霞ヶ浦医療センター（消化器内科1名）→③石岡第一病院（内科1名）→④土浦協同病院（麻酔科2名）という優先順位により、県へ要望を行う案を提示した。

○要望理由について、各病院から以下のとおり補足説明があった。

■石岡第一病院：館管理者

整形外科：手術ができる医師が常勤1名。骨折の患者が多く、一人で20件ほどこなしている。手術対応できる医師を希望する。

内科：常勤の内科医師（平均年齢60歳を超える）救急を担うのに、ハードルが高い。医師派遣により救急を充実させたい。

■霞ヶ浦医療センター：鈴木委員

消化器内科：福田教授が退職し指導医が不在になる。がん診療指定病院でもあり、他の病院で対応困難ながん事例を受けているほか、地域の3次、2次救急を補完する役目を担ってきた。がん医療、救急医療、臨床教育の拠点として地域医療へ寄与するためにも医師派遣が必要。

■土浦協同病院 河内委員

筑波大から「土浦は地域医療構想での医師不足地域に該当しない」という理由で、麻酔医師3名減員されている。当院は地域の中核病院を担っており、全身麻酔手術の件数増加が見込まれることから、件数増加に対応できるよう派遣を希望する。

<質疑応答>

医師派遣調整に係る将来的な展望についてどうなっているのか。要望ができる期間はどれくらいか。（幕内委員）

→各医療圏の要望上限が4名までとなったのは今年度からである。来年度以降も調査は継続されると思うので、年度始めの病院の状況に応じて要望いただき、本会議で検討していきたい。また、要望は年度ごととしている。（事務局）

<結論>

提示した案のとおり要望を行うことが承認された。

（2）外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の選定について【資料2】

○事務局より、資料2に基づき、外来機能報告及び紹介受診重点医療機関の概要について説明。

○昨年度の外来機能報告の結果、土浦医療圏内では、紹介受診重点医療機関となる要件を満たしている医療機関が、土浦協同病院及び霞ヶ浦医療センターの2病院あり、両院とも紹介受診重点医療機関となる意向があることが確認されたため、この2機関を選定することについて異論がないか確認した。

<質疑応答など>

■地域医療支援病院と今回の紹介受診重点医療機関の将来的展望、違いは何か。地域医療支援病院にもあえて確認する意図は何か。(地域医療支援病院は1000点、紹介受診重点医療機関は800点)重点外来の項目を満たせなくなった場合、ペナルティ的なものはあるか。(鈴木委員)

→将来的な展望については、保健所でも情報なし。外来機能報告は毎年度実施予定。将来的展望等については今後県庁に確認していく。(事務局)

■重点外来の項目について、(特に悪性がん手術、放射線)合致する病院が今後限られてくると思う。国はシステムによって、どこが合致しているか把握しているかと思うが、これは一度選定すると変わらないのか。期間はありますか。(鈴木委員)

→毎年度実施される外来機能報告をベースに報告している。令和5年度の外来機能報告が今年の10月以降にある。ここで報告したものをベースに令和6年度に再度紹介重点医療機関の選定を行っていく予定。(事務局)

■重症加算もとっているうえ、働き方改革で、宿直業務をしないこととしている。変形労働時間制を取り入れた時に、勤務時間を削減したいと考えており、一般外来は紹介受診重点医療機関に手をあげたい。今後も基準を満たせる限りは手上げを続けたい。(河内委員)

<結論>

上記2病院が紹介受診重点医療機関となることが承認された。

4 報告事項

(1) 医療法人幕内会の病床再編計画について【資料3】

幕内会理事長幕内委員より、資料3に基づき、病床再編計画について報告があった。

<概要>

第一期：山王台病院附属第1クリニックと第2クリニックを山王台病院へ合併し、90床になった。

第二期(今回)：石岡共立病院の空き病床(4床)を山王台病院へ再編し増床。石岡共立病院は救急を受け入れていない状況。救急の6割は他院へ紹介しているが、転送する病院を探すのも困っている状況。

第三期：稼働率99%のため、救急の受入率増、かかりつけ患者の急変対応も含め、病床不足を解消に向け、将来的には172床を目指す。(R6月10月目標)現在施設を立て直している。

(2) 第8次茨城県保健医療計画の策定について【資料4・参考資料2】

事務局より、資料4に基づき、今年度策定予定の第8次茨城県保険医医療計画の概要につ

いて報告した。

<質疑応答など>

■令和6年度から医師の働き方改革については示されないのか。(小原議長)

→示されている。資料4のp8参照。(事務局)

■国の指針に沿って作ると思われるが、医療従事者の確保について、医師以外にも薬剤師、メディカルクラークのといった、医師や看護師をサポートする医療従事者の確保を計画に盛り込むべきと考えるが、県として力を入れるのはどこになるのか。国と同じではなく地域の実情に合わせて作成してほしい。(鈴木委員)

→骨子をベースとして取り組んでいく。(事務局)

■二次保健医療圏について、今後、地域によってかなりの人口減少が見込まれると思うが、変更の予定はないのか。脳卒中の話にしても、脳卒中センターとか、県北の部分は基幹病院が少ない。人口もすくない。特に心配である。(塚田委員)

→二次保健医療圏内で医療が完結しないということは当然ありうること。医療計画上、二次保健医療圏と異なる圏域を設定しているもの(小児科や産科など)はあるが、循環器疾患についても、そこに該当していくかもしれない。また、がんの診療拠点病院などは二次医療圏ごとにしており、二次医療圏の変更は、非常に混乱を招く心配もあり、よほどのことがないと、見直しは行われないと考える。(事務局)

■8次計画に関して、病院で何か報告する必要があるのか。(幕内委員)

→2025年度までの各医療機関における具体的対応方針の検討についてのことか。昨年度の2月の調整会議でほぼすべての医療機関で提出いただき、すでに県庁に提出済み。今年度中をめどに、地域医療構想調整会議の中で、具体的対応方針についての進捗状況の検証は続いていくと思う。病院の状況が変わったときに、変更を反映できると思うが、具体的には作業は示されていない。少なくとも、今年度を目途に進捗状況の検証は続く。(事務局)

R5年度第1回土浦保健医療圏地域医療構想調整会議 出席者名簿

(敬称略)

No.	区分	役職名	氏名	出欠	代理出席者(○印)	
1	医療関係団体	医師会	土浦市医師会長	小原 芳道	○	
2		医師会	石岡市医師会長	柏木 史彦	○	
3		歯科医師会	土浦石岡歯科医師会長	福田 健一	○	
4		薬剤師会	土浦薬剤師会長	小畑 敦史	○	
5		看護協会	土浦地区理事	平賀 京子	○	
6		病院協会	豊後荘病院長	森 博昭	代理	医療技術部長 宇佐見敏之
7	保険者	筑波銀行健康保険組合 常務理事	楡木 宏史	○		
8	福祉関係団体	かすみがうら市 社会福祉協議会長	宮嶋 謙	×		
9	介護事業者	社会福祉法人 愛信会 理事	酒井 一彦	×		
10	住民代表	土浦地区長連合会長	梅澤 義昭	×		
11	市町村	土浦市長	安藤 真理子	代理	健康増進課長 水田和広	
12		石岡市長	谷島 洋司	○		
13	基幹病院	総合病院 土浦協同病院長	河内 敏行	○		
14		霞ヶ浦医療センター院長	鈴木 祥司	○		
15		医療法人社団青洲会 理事長(神立病院)	平塚 圭介	○		
16		石岡第一病院長	吉野 淨	代理	管理者 舘泰雄	
17		県南病院長	塚田 篤郎	○		
18		山王台病院長	幕内 幹男	○		
19		土浦厚生病院長	塚原 靖二	×		
20		中央大柵整形形成外科院長	大柵 英昭	○		
21	保健所	土浦保健所長	入江 ふじこ	○		
22	学識経験者	消防	土浦市消防本部消防長	檜山 保明	○	